

令和5年度 指定管理者の管理運営に対する包括評価シート 【評価対象期間】
令和元年度～令和4年度

施設概要			
施設名(所在地)	山形市総合福祉センター 山形市城西町2-2-22		
施設目的	児童、青少年、女性、障がい者、高齢者、ボランティア等の研修や交流等を促進する場であるとともに、福祉情報の発信基地として、また、地域福祉・在宅福祉サービスを促進・支援する拠点として、誰もが安心して暮らせる住民主体の地域福祉社会の形成を目指す施設。		
指定管理者(選定方法)	社会福祉法人 山形市社会福祉協議会(選定方法:非公募)		
指定管理期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日		
指定管理者が行う業務	1 福祉に関する情報の収集及び提供 2 福祉に関する研修会及び講習会等の開催 3 各種の相談 4 健康の維持及び心身のリフレッシュの場所の提供 5 高齢者及び障がい者等のスポーツ・レクリエーション活動の場所の提供		
利用料金制導入の有無	有		
施設担当課	福祉推進部生活福祉課		
評価区分	評価項目	評価ポイント	審査委員会
管理運営の状況	人員配置	人員配置は過不足なく適切に行われたか	A
	有資格者の配置	必要な有資格者の配置は適切に行われたか	S
	資質向上	職員の資質向上を図る取り組みは適切に行われたか	A
	受付・接客	接遇向上を図る取り組みは適切に行われたか	A
	平等利用	特定の利用者を有利または不利に扱うことなく、取り扱いが適切に行われたか	A
	利用者サービス向上	利用者サービス向上を図る取り組みは適切に行われたか	A
	広報	利用者への広報は情報提供として適切に行われたか	A
	備品・建物等の管理	備品・建物等の財産の管理は適切に行われたか	B
	安全対策	利用者の安全確保の取り組みは適切に行われたか	A
	危機管理	緊急時に備えての研修・訓練等は適切に行われたか	A
	事故・苦情の対応	事故・苦情に対する対応は適切に行われたか	A
	利用の状況	開館日数	開館(日数)は適切に行われたか
開館時間		開館(時間)は適切に行われたか	A
利用人数		利用人数は目標を達成したか	B
利用件数		利用件数は目標を達成したか	A
事業実施の状況	実施回数	実施回数は目標を達成したか	A
	参加者数	参加者数は目標を達成したか	A
	事業内容	事業の内容は施設の設置目的にあう適切なものであったか	A
の満足度調査	利用者満足度の把握	アンケート等を実施して利用者満足度の把握は適切に行われたか	A
	利用者満足度向上	アンケート結果等により利用者満足度向上を図る取り組みは適切に行われたか	A
維持管理の状況	清掃(日常)	業務は計画どおり適切に行われたか	A
	清掃(定期)	業務は計画どおり適切に行われたか	A
	保守点検(日常)	業務は計画どおり適切に行われたか	A
	保守点検(定期)	業務は計画どおり適切に行われたか	A
	保安警備	業務は計画どおり適切に行われたか	A
	修繕等維持管理	修繕等は適切に行われたか	A
収支の状況	利用料金	利用料金は目標を達成したか	B
	利用料金の收受	利用料金の收受は規定の料金を適正に收受するなど適切に行われたか	A
	利用料金の減免	減免の申請手続がなされた場合、処理は適切に行われたか	A
	経費の縮減	経費縮減についての取り組みは適切に行われたか	B
	収入の増加	収入増加についての取り組みは適切に行われたか	A

施設担当課の考え方

今指定期間においては、令和2年度から令和4年度までの指定期間の大半が新型コロナウイルス感染症の影響があった。特に貸館や有料施設の利用についての影響が大きく、利用者数や利用料金収入に関して影響が大きかった。なお、感染の流行状況によって利用制限の強化と緩和を繰り返すこととなったが、利用者に混乱を与えないよう、その都度適切に対応をされた。

令和5年度以降、施設利用もコロナ禍以前の形態に戻していくこととなるが、コロナ禍により停滞していた地域住民の福祉活動をさらに支援していくため、地域福祉活動の拠点としての機能強化を期待したい。

また、施設管理については建設から30年近く経過しており、大小さまざまな修繕・設備更新が必要となってきた。仕様書に基づき指定管理者が行うべき修繕、市で行うべき修繕を整理し、優先順位をつけながら必要な対応を行い施設を長期的に稼働できるよう適切な管理を行ってほしい。

包括評価の結果

全ての評価項目がB評価以上であるため、総合評価は「良好」とする。